

# MGU Chapel Letter

—第 36 号 2024 年 4 月 7 日— 発行：大学宗教センター

\* 2024 年度聖句 \*

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



## ❖ 大学礼拝が 17 日から始まります！

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

### 4 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 4 月 17 日（水） 佐々木哲夫 （理事長・学院長・宗教総主事）
- ・ 4 月 19 日（金） 栗原健 （大学宗教センター長）
- ・ 4 月 22 日（月） 長谷部弘 （学長）
- ・ 4 月 24 日（水） 松本周 （一般教育部准教授）
- ・ 4 月 26 日（金） 大久保直樹 （中高宗教主事）

\* 聖書・讃美歌をお持ちください。

## ❖ 聖書・讃美歌販売のお知らせ ❖

CBS 仙台による聖書・讃美歌の販売が、4 月 8 日（月）から 12 日（金）にかけて、教科書販売と同じく小ホールで行われます。授業でも使用されるので、新入生の方は購入を忘れないように気をつけましょう（販売時間 平日：10 時～15 時 土曜日：10 時～13 時）。なお、支払いの際には生協プリペイド・図書カードは使用できません。



## ✦ 礼拝になんで行くの？ ✦

これを読んでいる方の中には、新入生も多いと思います。本学のキリスト教学（1年次必修）では、礼拝に出席してレポートを書くという課題が出ていますが、「礼拝に行くのは初めて」という人も多いでしょう。「私はキリスト教徒じゃないのに、なんでそんなものに行かなくちゃいけないんだろう。イヤだなあ」と思っている人も、いるかも知れませんね。

礼拝に出席することは、単に「宮学がキリスト教の大学だから」ということだけではありません。豊かな学生生活を送るために、多くの良い点があります。

大学生活は慌ただしいです。授業から授業へと急ぎ、課題をこなす。新しい友達を作り、サークル活動などにも加わる。充実した時間ですが、気づかぬうちに頑張り過ぎて疲れてしまうこともあります。毎日のスケジュールについて行くだけで精一杯になり、自分が大学で何をしていたのか、見失うことも珍しくありません。

そんな時は、一度立ち止まって自分を取り戻すことが大切になります。昼の間にあえて時間を取り、パイプオルガンの美しい音色に耳を傾けながら、心を静める時を持つ。そうした時間は、人間らしく生きて行くために結構必要なのです。

礼拝で読まれる聖書と、併せて語られるメッセージも重要です。聖書は、「あなたは意味があって創られた、そのままで大切な存在だよ。決して『これから努力して何かを成し遂げたら、価値が出て来る』のではない。もうすでに価値があるから、何かができるのだ。だから心配しなくても大丈夫だよ」と伝える神の呼びかけです。そのように、自分自身や人生のことを考えてみたことがあるでしょうか。もしも自分がそのような存在だったら、皆さんはどのように生きていきたいでしょうか。他者とは、どのように向き合うべきでしょうか。礼拝は、こうした問いかけに向き合う時でもあります。

卒業してから、「礼拝って、ぜいたくな時間だったなあ」と懐かしむ卒業生もいます。後で良さが分かるものは、やっぱり本物。難しく考えないで、ぜひ出席しましょう。分からないことがあったら、キリスト教学の先生に聞いてみて下さい。（栗原）



【連絡先】宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : [christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)